

畜水産食品中の合成抗菌剤の検査結果 (1998年度)

熊野 眞佐代・川口 治彦

Analysis of Synthetic Antibacterials in Livestock and Marine Products (1998)

Masayo KUMANO and Haruhiko KAWAGUCHI

Key words : 合成抗菌剤、抗生物質、内部寄生虫剤、養殖魚介類、鶏卵、乳

はじめに

平成10年度、厚生省畜水産食品の残留有害物質モニタリングの一環として、県内産の畜水産食品中の合成抗菌剤の残留調査を実施したので、その結果について報告する。

調査方法

1 検体 表1に示す。

表1 検体

保健所名	養殖魚介類			鶏卵	乳
	ぶり	たい	ひらめ		
西彼	3	2			
県央				7	6
県南	2	1		3	3
県北	1	3	1		3
五島	1	2			4
上五島	2	1			
壱岐					4
対馬	1	1			1
計	10	10	1	10	21

各保健所から平成10年12月から11年1月に搬入された。

2 検査項目と定量下限値

表2に示す。

3 検査方法

平成10年4月1日付け衛乳第87号、厚生省生活衛生局肉乳衛生課長通知による。

表2 検査対象食品及び検査項目・定量下限値

検査項目	養殖魚介類			鶏卵	乳
	ぶり	たい	ひらめ		
(1)抗生物質					
オキシテトラサイクリン	0.10	0.10	0.10	0.20	0.1
(2)合成抗菌剤					
サルファ剤					
スルファメタジソン	0.01	0.01		0.01	
スルファジミジソン	0.05	0.05		0.05	
スルファモメトキシン	0.01	0.01		0.01	
スルファジメトキシン	0.04	0.04		0.04	
スルファキノキサリン	0.05	0.05		0.05	
オキソリン酸	0.05	0.05	0.05	0.05	
チアソフェニコール	0.5	0.5	0.5	0.5	
オルトメフロリム					0.05
トリメフロリム					0.05
ピリメタミン					0.05
(3)内部寄生虫剤					
フルベンダゾール				0.04	
チアベンダゾール					0.005
2-ヒドロキシチアベンダゾール					0.01

(定量下限値 単位: $\mu\text{g}/\text{g}$)

まとめ

養殖魚介類21検体、鶏卵10検体および乳21検体のいずれからも抗生物質、合成抗菌剤、内部寄生虫剤は検出されなかった。